

## 一般社団法人日本薬学生連盟 2026年度補欠選挙立候補申請書

立候補者氏名	長谷川貴英
立候補する役職	副会長内務理事
大学/学部/学科	明治薬科大学/薬学部/薬学科
学年	3年
所属	交換留学委員会/μ stream(協力団体)
日本薬学生連盟での活動経歴	2023年5月 日本薬学生連盟入会 2023年6月 交換留学委員会所属 2024年3月 第25回年会1年生企画-1年生と交流しよう! 企画長
立候補動機	<p>私は1年生から日本薬学生連盟に所属していましたが、当時、同学年の人数が少なく、交流の機会が限られていたことから、全体活動への参加が減ってしまった時期がありました。一方で、交換留学委員会では学年や大学を越えて先輩方が温かく声をかけて下さり、イベントへの参加や企画を通じて大きな楽しさとやりがいを感じることができました。</p> <p>今振り返ると、もっと早くから全体のイベントや活動に参加していれば多様な考え方や価値観に触れ、自分自身の視野を更に広げることができたのではないかと思います。日本薬学生連盟には、大学や学年の異なる人と関わることができる貴重な環境であるという魅力があります。一方で、特に低学年のうちには1人でイベントに参加することに不安を感じ、結果的に活動から距離を置いてしまう会員も少なくないのではないかと感じています。</p> <p>私自身がこのような経験をしたからこそ、学年や大学が違って「参加してみたい」と思える雰囲気づくりを行いたいです。そして、かつての私と同じように一歩を踏み出せずにいる人を少しでも減らし、会員一人一人が活動に踏み出しやすい団体にしたいと考え、立候補を決意しました。また、現副会長内務理事の推薦もあり、立候補しました。</p>
問題点と改善案	<p>〔問題点〕 ・会員が積極的に活動への参加ができていない</p> <p>〔改善点〕 →会員登録時のアンケート項目の追加</p> <p>日本薬学生連盟に興味をもって入ったものの、どのように動けば良いのかやどのイベントから参加すれば良いのかわからず、いつしか、入会した目的を見失ってしまうことがきっかけで積極的に活動に参加できてないと考えます。</p> <p>そこで、会員登録をする際に「知り合いに日本薬学生連盟に所属している人はいるか」「入会目的に対して適性な部署に所属して企画・運営してみたいか」についての項目も増やします。</p> <p>項目を増やすことで、企画や運営に興味をもって入会してくれた人にスタッフ会員の案内を円滑に行うことができ、より多くの会員に活動に関わる機会を提供できると感じます。</p> <p>また、日本薬学生連盟に所属している友達や先輩が身近にいれば一緒に行事に参加したり、わからないことを聞いたりすることができると思いますが、全員がこのような境遇ではないと考えます。入会してきた人がわからないことをそのままにせず、気軽に質問できる環境づくりが必要です。そして、本部の役割として、会員が入会した目的に沿った前向きな活動ができる環境を整えていくことが重要であると考えます。</p> <p>〔問題点〕 同学年での積極的な交流が十分に行われていない。</p> <p>〔改善点〕 →夏にオンライン交流会の実施</p> <p>同学年の仲間は最も身近に話せる存在になると思います。しかし、同学年でも所属している部署が違うと交流の機会もなく、全体での行事に参加しないと交流の機会は全くなく、仲を深めることができません。</p>

	<p>大学問わず、オンラインであっても顔を合わせたことのある人や話したことのある人がいることで全体行事に参加する目的が新たにできるので活動に参加しやすい環境にも繋がると考えます。</p> <p>1年を通じて企画として学年で交流できる機会は3月に行われる年会のみです。夏に行う交流会では、住んでいる場所関係なくどこからでも参加することができるオンライン機能を活用し、夏にも学年で交流する機会を提案します。</p> <p>同学年で楽しく交流をしてもらうことが目的です。その為、誰もが気軽に参加できるような企画を目指し、3月の年会での学年企画での反省点を改善した内容とします。</p>
<p>活動計画</p>	<p>[上半期]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体予算案の作成</li> <li>・年間の活動方針の決定</li> <li>・年間スケジュールの作成</li> <li>・新入生歓迎会</li> <li>・新規入会者のニーズに合わせた活動の提案</li> <li>・オンライン学年交流会</li> </ul> <p>[下半期]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計報告書の作成</li> <li>・上半期の反省を踏まえた活動方針の見直し</li> <li>・薬学生ジャンボリー</li> <li>・年会</li> </ul> <p>[通年]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会員・スタッフ登録の手続き</li> <li>メーリングリストの登録、送信、管理</li> <li>OBOG会との連絡</li> <li>団体の金銭管理</li> <li>各種支払い</li> <li>経費立て替えの補填</li> </ul>
<p>所信</p>	<p>私は昨年度、明治薬科大学のμ streamサークルの部長を務めていました。</p> <p>そこでの活動を通して、同学年の交流だけでなく学年を超えた交流の重要性を経験しました。同学年の仲間とボランティア活動やイベント企画に関わる中で、サークル活動はもちろん、お互いが目指している将来像について意見交換をし、刺激を受け合えたことで、身近で支え合える仲間の存在が自分自身の成長に繋がりました。また、学年を超えた交流では同学年同士では得られない多様な意見に触れることができ、新たな視野を広げることができる貴重な機会となりました。</p> <p>日本薬学生連盟に所属しているみなさんにも学年関係なく同じ目標をもつ人との関わりを通じて新たな刺激を受けてもらい、そして、将来像について視野を広げてもらいたいと考えています。</p> <p>そこで日本薬学生連盟に所属している多くの人が同学年はもちろん、学年を超えた交流と活動に参加しやすい環境づくりを目指します。そして、この団体に参加して良かったと感じてもらえるよう、責任と自覚をもって職務に取り組んでまいります。</p>